



Autumn 2016

Vol. 32

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING
HOME
HOJYUEN

豊 寿 園

FRUIT FULL TREE

豊かな樹

トピックス

T O P I C S

家族会主催の勉強会開催決定！「終活」についてご講演いただきます

本年度の総会で決議されておりましたとおり、11月11日「介護の日」にあわせて下記のとおり豊寿園家族会主催の勉強会が開催されます。

今回は、株式会社サンレー代表取締役社長の佐久間庸和様を講師にお迎えし、「終活」についてのご講演をお願いしています。貴重な講演会ですので、ご家族の皆様は是非、ふるってご参加ください。お申し込みは窓口で、もしくはお電話ください。

日時 平成28年11月11日(金)
13:00 ~ 14:30

場所 豊寿園研修会議室

費用 無 料

その他 講演会の後、豊寿園での看取り
介護の流れ、事例紹介を予定
しています。



※講師紹介

佐久間庸和<さくまつねかず>

1963年福岡県北九州市生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、大手広告代理店勤務を経て、1990年に大手冠婚葬祭会社(株)サンレー入社。01年代表取締役社長に就任。現在は代表取締役社長として、忙しく飛び回るかわら、各地の老人会を回り、「人は老いるほど豊かになる」と題する講演活動をボランティアで行っている。また、作家一条真也として著書を多数出版。

園内の防犯体制を見直しました！

7月26日未明に、相模原市の障害者支援施設において痛ましい殺傷事件が発生しました。利用者様ならびにご家族の皆様におかれましては、同じ福祉施設での事件という事でさぞご心痛のことと存じます。

豊寿園におきましては、北九州市および日赤本社の指導の下、下記のとおり園内における安全体制を整備していますので、ご案内いたします。ご心配な点がございましたら、生活相談係までお気軽にご相談ください。

- 夜間につきましては、警備担当者が毎日1名勤務しており、建物および敷地内の巡視を行っております。
- 建物の正面玄関につきましては、20時をもって施錠させていただきます。20時以降でご来園の際には、ご面倒ですが玄関左手側にございますインターホンをご利用ください。
- 緊急時には職員および警察等関係機関、近隣施設との応援体制を確保しております。

消防訓練を行いました！

9月7日、日中に2階から出火したことを想定した消防訓練を行いました。冬に向けて空気の乾燥から火災の心配が高まる時期になります。豊寿園では、災害も含めた防災体制を整え、万々に備えています。



救急法の研修会を行いました！

9月24日、職員研修として救急法を学びました。当日は職員の他に、豊寿園で活動いただいています、北九州赤十字看護奉仕団じゅんの会からも9名ご参加いただき、AEDを用いた心肺蘇生法の手技について学びました。





8月2日
夏休み福祉体験講座 開 講！

門司区ボランティア・市民活動センター主催の夏休み福祉体験講座が、今年も豊寿園で開催されました。今年度は、「しあわせをつくる介護の仕事」と題して、日頃、老人ホーム内で職員が行っている業務の体験や利用者様との交流を行いました。



8月2日
2016 夏ボランティア体験

北九州市社会福祉協議会が主催する夏休みの学生を対象とした、夏ボランティア体験で学生さんの受け入れを行いました。



9月14日、26日
松ヶ江北小学校へ出前授業に

例年、交流を行っています、北九州市立松ヶ江北小学校6年生との今年度の交流が始まりました。9月14日には、奥水介護課長が小学校を訪問し、高齢化の現状・介護の仕事について授業を行いました。9月26日には、奥水介護課長、荒木通所介護係長の二人が、認知症サポーター養成講座のテキストをもとに、認知症についてグループワークやロールプレイを通して学んでいただきました。



七夕



7月 新門司保育所の園児さんと一緒に七夕の飾りつけを行いました。



バスハイク



7月 サンリブシティ小倉へご家族とバスハイクへ お買い物や食事をお楽しみいただきました。

買い物



8月 園内でセブンイレブンさんの訪問販売。

敬老会

9月17日 ご来賓の方々をお招きし、
 園内で敬老会を行いました。今年度は1
 5名の喜寿・米寿・100歳超を迎えら
 れた皆さんにお祝い状をお贈りしました。



豊寿園 アルバム

I was very glad to have seen your smile



シルバー文化祭



9月 シルバー文化祭に観覧にでかけました。

音楽の集い



8月 メレアロハの皆さんによるウクレレ・オカリナの演奏をお楽しみいただきました。

地域ぶらり情報

あま〜い香りに誘われて・・・



門司港レトロの海峡プラザ内にある『BEE HONEY』は国内・国外の純粋蜂蜜をたくさん取り揃えている蜂蜜専門店です。湯布院に1号店があり、門司港は2号店になります。蜂蜜と言えばレンゲやアカシアがポピュラーですが、季節やその年によって採れる蜂蜜が異なるため、お店では数種類の蜂蜜を取り扱っています。

純粋蜂蜜以外にも蜂蜜を使った製品を販売しており、一番人気は、『はちみつとろ〜りソフト』。クラウン製パンとコラボして作った『ばななはちみつメロンパン』も人気です。

BEE HONEY

北九州市門司区港町5-1 海峡プラザ
TEL 093-332-3720
年中無休
OPEN 10:00~20:00

あとがき

8月に発生した台風は、日本列島の各地で様々な被害をもたらしました。豊寿園のある北九州市でも台風の接近に伴い、学校が休校になるなどの措置がとられたのにあわせ、豊寿園も利用者様の安全を第一に考え、デイサービスの営業を中止するなどの対応を行いました。

今号でも紹介していますように、今年度の豊寿園は園内外に向けたイベントが目白押しです。イベントの担当者としては、天候が一番に気になるのですが、園内には実績十分な雨おとこ、雨おんながズラリと揃っており、かくゆう私も結婚式の開始1時間前から雨が降り出すような体質の持ち主です(涙)。

各イベントの準備作業の中に、てるてる坊主作りを加えつつ、皆さんに喜んでいただけるよう各イベントを職員一丸となって、入念に準備していきたいと思えます。すべてのイベントはホームページやこの豊かな樹でも紹介していきますので、どうぞお楽しみに。

平成28年度広報委員 森 英樹



今回表紙を飾ってくれたのは、2階特養棟の川上典子さんです。入職以来、特養棟・デイサービスを経て、2階特養棟の施設ケアマネジャーとして勤務していましたが、11月の出産を控え、産休に入ることになりました。広報委員たってのお願いに、マタニティ姿で表紙を飾ってくれました。

介護一口メモ C A R E M E M O

今回のテーマは「腰痛予防の福祉用具」です。
実は秋から冬にかけてぎっくり腰になる方が増えるそうです。
身体介護の負担を和らげてくれる道具をうまく利用しましょう。

秋から冬にかけてぎっくり腰が増えるわけ。

ぎっくり腰は、何らかの原因で知らない間に腰の筋肉にたまった疲労が限界を超えた時に起こるのではないかとされています。なぜ秋から冬にかけてぎっくり腰が多いのか、それは“冷え”です。

外の寒さから運動が少なくなる事で、腹筋・背筋のバランスが崩れることが挙げられます。また、寒さから、長時間筋肉が緊張することにより、血流が滞って老廃物が排出されにくくなり、細胞に酸素や栄養が行き届かなくなります。

そのため、特に、気温が低下する秋から冬にかけては冷えによるダメージが大きく、ぎっくり腰になりやすいそうです。

とは言っても、身体介護、とくに移乗介助などでは腰に負担がかかります・・

そこで、今回は寝たきりの方や、ご自分で体を動かすことが困難な方を移乗介助や体位変換をする際に身体の負担を軽減する福祉用具をご紹介します。

スライディングシートという福祉用具です。

低摩擦素材を使った滑りやすいシート「スライディングシート」をベッドと対象者の間に敷き込んでいただくと、寝返りなど体位変換時に発生する摩擦を軽減することができます。褥瘡予防や創部の保護にも効果的です。



(※写真はイメージです。様々な商品があります。)

スライディングシートの使い方。

「スライディングシート」にはさまざまな形状がありますので、用途に合ったものをお選びいただけます。

筒状の「スライディングシート」は、筒の内側には低摩擦素材を使用しているため、力を加えた方向に筒状のシートが回転し、大きな力を使わずに身体を動かすことができます。

シート状のスライディングシートは、ベッドに常時敷いておくことができるので、体位変換を行いたいときに、その都度、敷き込みをする必要が無く便利です。

また、体位変換はベッド上だけに限りません。車椅子に長時間座っていただくと、徐々にお尻が前にずれてきてしまいます。この「ずれ」をそのままにしておくと、褥瘡の要因ともなります。身体を無理に引き上げて行なう座り直しは、介護する方にとって負担が大きく、転倒などの危険も伴います。そういう時には、筒状の「スライディングシート」（車椅子用）を座面に敷きます。前方へのずれを抑え、ずれてしまった姿勢を戻すときは、座ったまま膝を押し込むだけで、簡単に深く座らせることができます。

スライディングシートはレンタルすることができます。興味がおありの方は、ケアマネジャーさんにご相談ください。無理な介護をせず腰痛予防のためこういった福祉用具を活用していきましょう。

資料引用：パラマウントベッド <http://www.paramount.co.jp>

あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回、奥水介護課長のインタビューを受けてくださったのは、船木敏春様です。この8月より家族会の幹事に就任されています。ご自宅での介護を経て、現在は奥様が豊寿園にご入所されています。そんな、船木様にご自宅での介護についてお聞きしました。

船木様… 家内は、学校を卒業してからずっと、パートで63歳まで働いていました。辞めた後も、私が定年になるまでの間は、元気で特に変わったこともなく、家のことをしたり、娘と買い物に行ったりしていました。何かおかしいなと気付いたのはいつごろだ？とよく聞かれたんですけど、実はよくわからないんです。認知症について、全く知識がなかったたので気付かなかったんだと思います。

もともと家内の母親も連れ合いを亡くした後、87歳まで一人で頑張って暮らしていました。義弟が引き取って、最後は施設に入つて亡くなったんですが、今思えば義母もおそらく認知症があったと思うんです。ただ、すぐ近くで義母の言動を見ていたから特別と感じなかったのかもしれない。今になって思い返してみると、家内が70歳頃だったと思います。孫と買い物に行つたとき、「おばあちゃん同じことばかり言うね」と言われたことがあります。

あと、71歳の頃、私と妻がそれぞれ車を運転して、自宅から5、6分のところにある娘の家に行こうとした事がありました。



今回インタビューに応じてくださった船木 敏春 様
奥様のご自宅での介護を経て豊寿園に入所されるまでの体験談を語っていただきました。

— 認知症について、全く知識がなかったたので気が付かなかったんだと思います —



船木様… 孫から、「おばあちゃん同じことばかり言うね」と言われた頃から私も心配になってきたので、本人に「物忘れ外来に行こうか？」と聞きました。本人が「いいよ」と言ったので個人病院へ受診に行きました。担当の先生から、「質問に答えられない」と言われ、精密検査を勧められました。市立病院へ紹介状をもつて二人で受診に行きました。いろいろな検査をしてもらった結果、アルツハイマー型認知症と診断されました。アリセプトの内服や通院をはじめました。

— 本人に「物忘れ外来に行こうか？」と聞きました。本人が「いいよ」と言ったので病院へ受診に行きました。 —

船木様… その時、途中で後ろからついてきているはずの家内の車がいなくなつたんです。連絡すると、コンビニの駐車場にいるというので、迎えに行つてどうしたのか尋ねると、「私、どこに行くのかわからなくなつた」というんです。翌年が免許の更新だったんですが、心配になつたので返納してもらいました。本人も不安になつたのか納得してくれました。

船木様… いつだったか忘れましたが、家内が急に家事ができなくなつたんです。それからは、私が全部一人でするようにしました。家内ができることを自分が率先してやるのは当たり前だし、そっちの方が早いので苦にもしていませんでした。

けど今考えると、本人にとつてはそれが良くなかつたんじゃないかと思つたりします。

奥水… その後数年の中で、徐々に認知症や身体機能の低下が見られ始めたのを機に、平成25年から介護保険の認定を受けられ、デイサービスの利用を開始。平成26年から豊寿園のショートステイを使われ始めて、翌年には特養に入所されました。それまでの介護を振り返つてみて、思われることは何かありますか？

— 私が甘やかしすぎたんでしょうか。それが進んだ原因なんでしょうか… —



ご夫婦のお若いころの写真
 当時から、仲睦まじい関係性がうかがえます。



もともと私たち夫婦は喧嘩をしたこともなかったんです。だから、家内が家事が出来なくなったことも、怒ったことはないし、上手くいかなくて腹を立てることもなかったんです。けど、甘やかしすぎたんでしょっかね。それが認知症が進んでしまった原因なんですかね？

奥水…認知症の方の介護を考える時に、ご本人が未だ出来ることを取り上げてしまうと、出来なくなってしまうということがあります。逆に、難しくなってきたことを無理にやらせようとすると、失敗したことを責められたり、怒られることがストレスになって、ご本人の意欲が低下し、症状が進行するとも言われています。

船木さんご夫婦の場合は、双方の納得の中で、お互いに無理なストレスを抱えず、穏やかに過ごされたと言います。良い対応だったのではないのでしょうか。

— 苦労ですか？ そんな風に感じましたのではないですね。—

奥水…特養に入所されてからは、毎日面会に来ていただき、昼食介助と車椅子で散歩をしていただいています。奥様は、ご主人のことを待っていらつしやるようです。

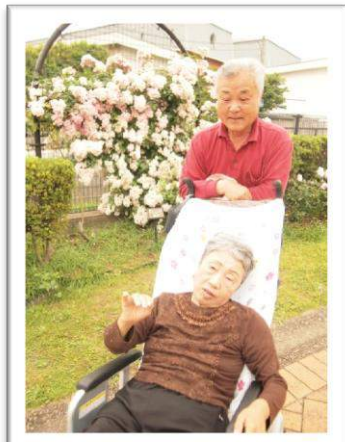
船木様…私は趣味がないので、園に来るのは何の苦もないです。でも帰り際には、後ろ髪をひかれるんですよ。それがつらいんです。何とかごまかして帰るのですが…。

船木様…いつか今よりもっと悪くなつて寝たきりになると、私のことも忘れてしまうんでしょうね…。その時はもっとつらくなるのかなあと思います。もう家につれて帰れないことや、もっと旅行を2人でおけばよかったな、とそれが残念です。

奥水…今回、お話しをお聞きして、ご夫婦の仲の良さが伝わってきました。奥様もご主人がいることで安心されていたのでしよう。ご主人が言われることを素直に受け入れて、頼りにされていたのは、お互いにとつて幸せなことだったのでしようね。

船木様…そうなんですかね(笑)。苦労ですか？ そんな風に感じたことはないですね。

奥水…認知症の方の介護は、信頼関係を構築することが大切だということを改めて感じました。これからも、ご主人との時間を大切にして、また旅行とまではいきませんが、バスハイクなどの外出行事にはぜひ参加させていただき。今日はありがとうございました。



5月にバスハイクに行かれた時の写真。
 仲の良さは変わりません

座

談

会

You were young in those days.

— どうして豊寿園に入職したのですか？ —



上田健太 : 養成校時代から縁あって、夜勤のアルバイトをさせてもらっていて、卒業後そのまま就職していました。

磯崎伸子 : 就職説明会で話を聞いて、「日赤にこういう福祉施設があるんだ…くらいの思いで興味を持ちました。当時は、日赤がどうい活動をしているかは良く判っていませんでした。すみません(笑)。あと、入社試験を受ける前に見学させてもらったんですが、廊下を歩かれている利用者さんから、「まあ久しぶり」と声をかけてくださったのが衝撃的で、「ここで働きたい！」と強く思ったのを覚えています。

— 入職当時と今とを比べると、どこが、どう変わったと思いますか？ —

磯崎伸子 : 幼稚なところ、仕事の遅いところはあまり変わっていないかな…。ただ、認知症の方々と関わらせていただく中で、ありのままの姿を受け入れることがどれほど大切か、ということを学ばせていただいたと思います。

上田健太 : 尊敬していた先輩たちが部署が変わったり、辞められたりして行って、気が付いたら自分も結構、ベテランになっていました(笑)。

TALK × TALK

— 入職当時のエピソードなどあれば教えてください。 —

上田健太 : 初めての夜勤をした時に、僕を入れて3人での夜勤だったんですが、仮眠に入っている先輩を起こしてくるように、もう一人の先輩に言われて起こしに行きましたが、相当に寝起きの悪い先輩で、なかなか起きてくれなかったことですかね。先輩たち怖かった…。

磯崎伸子 : 入った当時は、介護の事を本当に何も知らなかった私にゼロから丁寧に教えていただいた先輩たちには心から感謝しています。ただ、あまりにも怒られることが多すぎて、怒られている途中で笑ってしまったことがあります。ごめんなさい。



— これから豊寿園で成し遂げたいことはありますか？ —

上田健太 : 尊敬していた先輩たちに近づけるよう、頑張りたいと思います。

磯崎伸子 : これからの豊寿園は、その時代に合わせながら、地域の皆さんに求められるよう、さらに質の高い介護を目指していかないとけないと思います。その中で私ができることをコツコツとしていきたいと思ひますし、ご利用者、ご家族、そして職員から信頼される人になりたいと思ひます。

THE HISTORY OF HOJJUEN

豊寿園の歴史を彩ってきた職員達を、順番にご紹介していくコーナーです。
4回目は、平成15年に入職した職員2名をご紹介します。



同期入職者の紹介 You were young in those days.

上 田 健 太

特養棟1階介護職員

平成15年に20歳で嘱託職員として豊寿園に入職。以来、特養棟勤務一筋の中堅職員。平成27年に沙耶香さん(旧姓 倉田)と結婚、今年長女が誕生し育児にも追われる日々を過ごす。
趣味はドライブ。

磯 崎 伸 子

生活相談係主任

大学卒業後、平成15年に22歳で豊寿園に入職。1階特養棟で勤務し、平成21年からは介護主任に。その後、訪問介護事業所アブレのサービス提供責任者を経て、平成23年より現職。
趣味は山登り。

2016
Vol. 32

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJUEN



Autumn 2016

Vol.32

TOPICS

MORE CROSS

HOJUEN 'S ALBUM

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOJUEN X FAMILY

SPECIAL SECTION

FRUITFULL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOJUEN